

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 中間評価調書

大学名		機関番号	
学長名			
構想責任者	(氏名)	(職名)	

大 学 名

[構想の概要]

[進捗状況の概要]

(I) 項目別評価

○記載にあたっての留意事項

- ① 「取組実績」欄には、平成22年度までの取組実績を記載してください。なお、必須ではありませんが、平成23年度の実績のうち調書提出時点までのものについて記載された場合は、評価の対象とします。また、英語コースの設置など本事業の実施による成果や波及効果など、アピールできる内容があれば、併せて記載してください。
- ② 取組実績を補足するために、必要に応じて、図表や根拠資料等を別途、添付することも可能です。その場合、「資料〇を参照」など参照先がわかるように注記を入れてください。なお、本事業に関する自己評価、外部評価の報告書がある場合には、参考資料として添付してください。
- ③ 「今後の展望」欄には、構想の組立て直し(大学間連携、産業界との連携、英語コースの授業開放、教育資源の共有化等)を踏まえつつ、事業の改善又は発展への方策など今後の展望について記載してください。以下、同様に記載。)。
- ④ 調書記載にあたってのページ数等の分量制限については、各大学の取り組み状況に応じて記載分量は異なることから、特段の制限は設けませんが、一応の目安として調書全体で30-50頁程度(英語コースの概要を除く)を目安としてください。また、参考資料の添付にあたっては、現地調査の際に確認することも可能であることから、大部の報告書や資料をそのまま添付せず、必要な箇所や例示として数例に限り添付するなど、必要な範囲に限っていただくよう工夫してください。

1-① 拠点大学の国際化

学長のリーダーシップのもと、大学の目標や中期計画等において国際化を明確に位置づけるとともに、大学全体として国際化を戦略的に推進しているか。

【取組実績】

【今後の展望】

優秀な外国人教員の招聘や国際的な教育研究活動実績のある日本人教員の採用、FD等の実施による教員の資質向上など教員体制の充実が図られているか。

【取組実績】

【今後の展望】

国際化に対応した事務機能の強化及び事務職員の配置やSDによる能力向上などによる事務体制の充実が図られているか。

【取組実績】

【今後の展望】

大学の国際化への取組等について、適切な評価・改善がなされているか。

【取組実績】

【今後の展望】

海外の大学との単位互換や学位取得プログラム等による教育連携の充実のもと、日本人学生の海外派遣や、日本人教員の海外における教育研究活動への参加等が促進されているか。

【取組実績】

【今後の展望】

1-② 英語による授業のみで学位が取得できるコース

コースの開設や開設に向けた準備が計画通り進められているか。

【取組実績】

【今後の展望】

開設された又は開設予定のコースにおける学生の確保や確保に向けた取組(特に、優秀な学生の確保のための取組やそのための改善の取組)が行われているか。

【取組実績】

【今後の展望】

国際的な教育研究活動実績を有する教員の雇用等による教育体制の充実のもと、人材養成目的に沿った組織的・体系的なカリキュラム編成がなされているか。

【取組実績】

【今後の展望】

質の高い研究内容に裏付けられた授業の実施、国際的通用性のある厳格な成績管理、教授法の開発や授業評価などによる教育改善など、教育の質の確保や向上への取組がなされているか。

【取組実績】

【今後の展望】

英語コースの概要

※申請時の構想調書において新設することとされた英語コース(平成23～25年度開設予定のものを含む)について記載してください。

1. 学部

①「英語コースの名称」欄～「人材養成目的」欄について、構想時から変更になっている場合は、()書で当初の名称等を記載してください。

②「取組状況」欄には、募集者数、志願者数、入学者数、在籍者数について記載してください(平成23年4月開設済のものまで)。また、平成23年4月以降開設予定のものについては、平成22年度末までの準備状況について記載してください。

③「今後の展望」欄には、構想の組立て直しを踏まえつつ、今後の展望について記載してください。また、コース開設や学生募集等が計画通り実施できなかった(又は、できない見込みの)場合は、その理由や今後の改善の方策・取組について記載してください。

④コース数に応じて適宜「行」を増やしてください。

英語コースの名称	学部・学科等名	人材養成目的	担当教員数 (括弧内は外国人教員数)	開設年月日
			()	計画
			うち専任 ()	実績

【取組状況】
 ※記載例(平成23年4月入学者までの実績、在籍者数は毎年度5月1日時点の人数で平成23年5月までの実績を記載)
 入学時期:平成22年4月、募集者数〇人、志願者数〇人、入学者数〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))
 入学時期:平成23年4月、募集者数〇人、志願者数〇人、入学者数〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))
 在籍者数:〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成22年5月1日)※帰国生は、帰国生入試受験者等把握可能な者でかまいません。
 在籍者数:〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成23年5月1日)
 開設予定(未開設)のものは平成22年度末までの準備状況について記載してください。
 その他、本英語コースの授業への聴講生や科目履修生等の実績についても可能な範囲で記載してください。

【今後の展望】

2. 大学院

①「英語コースの名称」欄～「人材養成目的」欄について、構想時から変更になっている場合は、()書で当初の名称等を記載してください。

②「取組状況」欄には、募集者数、志願者数、入学者数、在籍者数について記載してください(平成23年4月開設済のものまで)。また、平成23年4月以降開設予定のものについては、平成22年度末までの準備状況について記載してください。

③「今後の展望」欄には、構想の組立て直しを踏まえつつ、今後の展望について記載してください。また、コース開設や学生募集等が計画通り実施できなかった(又は、できない見込みの)場合は、その理由や今後の改善の方策・取組について記載してください。

④コース数に応じて適宜「行」を増やしてください。

英語コースの名称	研究科・専攻等名	人材養成目的	担当教員数 (括弧内は外国人教員数)	開設年月日
			()	計画
			うち専任 ()	実績

【取組状況】
 ※記載例(平成23年4月入学者までの実績、在籍者数は毎年度5月1日時点の人数で平成23年5月までの実績を記載)
 入学時期:平成22年4月、募集者数〇人、志願者数〇人、入学者数〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))
 入学時期:平成23年4月、募集者数〇人、志願者数〇人、入学者数〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))
 在籍者数:〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成22年5月1日)※帰国生は、帰国生入試受験者等把握可能な者でかまいません。
 在籍者数:〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成23年5月1日)
 開設予定(未開設)のものは平成22年度末までの準備状況について記載してください。
 その他、本英語コースの授業への聴講生や科目履修生等の実績についても可能な範囲で記載してください。

【今後の展望】

※上記以外の英語コース(構想時開設済み又は当初の計画には無く、採択以降に新設されたもの)については、必須ではありませんが、大学において必要と判断される場合は、以下に上記枠をコピーの上、記載していただいてもかまいません。

大学名 _____

1-③ 留学生受入のための環境整備

受入重点国	海外拠点の設置年月日	海外拠点における取組内容等 (教職員の配置、施設・設備等も記入)
	設置場所(都市名、施設名)	
	予 定: 実 績: ----- 都市名: 施設名:	
	予 定: 実 績: ----- 都市名: 施設名:	

※構想調書に記載した受入重点国の状況についてすべて記載してください。欄が足りない場合は適宜増やしてください。

海外拠点の設置や設置に向けた準備が計画どおり進められているか。

【取組実績】

【今後の展望】

受入重点国等において優秀な学生を確保するための取組が積極的に行われ、留学生の受入が促進されているか。

【取組実績】(受入重点国とそれ以外の国に分けて取組実績を記載してください。)

【今後の展望】

留学生に対する生活面での支援(宿舍、カウンセリング、学内文書の英語化など)、経済的支援(奨学金など)、就学に対する支援(日本語、日本文化に関する質の高い学習機会の提供、教育支援員等の配置など)や就職支援(インターンシップ、セミナーの開催など)について充実した取組が行われているか。

【取組実績】

【今後の展望】

1-④ 海外大学共同利用事務所の整備 (文部科学大臣より指定を受けた大学のみ対象)

海外大学共同 利用事務所の名称 〔設置年月日〕	設置国・設置場所	教職員の配置	施設・設備の概要
〔予定: 〕 〔実績: 〕			

事務所の施設・設備や体制が計画どおり整備されているか。

【取組実績】

【今後の展望】

我が国の大学の情報発信や学生募集を行う大学のワンストップサービス業務などの支援が積極的に行われているか。

【取組実績】

【今後の展望】

積極的な広報活動などにより、事務所の施設・設備・機能の共同利用が図られているか。

【取組実績】

【今後の展望】

1-⑤ 留意事項への対応

国際化拠点整備事業(グローバル30)審査結果における留意事項への対応を適切に行っているか。

留意事項欄(審査結果において留意事項がある場合は、本欄に留意事項の内容を転記ください。)

【取組実績】

【今後の展望】

2. 目標の達成状況

事項	計画時 (H.20.5.1現在)	平成21年度末 (実績)	平成22年度末 (実績) [(構想時の目標)]	平成25年度末 (構想時の目標)	平成32年度末 (構想時の目標)
留学生数(A)	—		[]		
うち博士課程 在籍者	—		[]		
うち修士課程 在籍者	—		[]		
うち学士課程 在籍者	—		[]		
上記以外 (短期留学生、 研究生等)	—		[]		
(A)のうち 在留資格が「留 学」の者			[]		
留学生受入 全学生数(B)			[]		
留学生比率 (A/B)	—		[]		
留学生受入に 関して実施する取 組	【平成22年度末における計画】※構想調書から転記			【平成25年度末】 ※構想調書から転記	【平成32年度末】 ※構想調書から転記
	【平成22年度末における実績】				
事項	計画時 (H.20.5.1現在)	平成21年度末 (実績)	平成22年度末 (実績) [(構想時の目標)]	平成25年度末 (構想時の目標)	平成32年度末 (構想時の目標)
外国人教員数 (C)			[]		
全教員数(D)			[]		
外国人教員比率 (C/D)			[]		
外国人教員 外国人教員の配 置促進に関して 実施する取組	【平成22年度末における計画】※構想調書から転記			【平成25年度末】 ※構想調書から転記	【平成32年度末】 ※構想調書から転記
	【平成22年度末における実績】				

海外有力大学との連携プログラムの新たな実施	【平成22年度末における計画】※構想調書から転記			平成25年度末	平成32年度末	
				※構想調書から転記	※構想調書から転記	
	【平成22年度末における実績】					
大学間交流協定等に基づく交換留学の拡大		計画時 (H.20.5.1現在)	平成21年度末 (実績)	平成22年度末 (実績) [(構想時の目標)]	平成25年度末 (構想時の目標)	平成32年度末 (構想時の目標)
	派遣			[]		
	受入			[]		
	【平成22年度末における計画】※構想調書から転記			【平成25年度末】 ※構想調書から転記	【平成32年度末】 ※構想調書から転記	
	【平成22年度末における実績】					
日本人教員の海外における教育研究活動への参加促進	平成22年度末までの実績			平成25年度末	平成32年度末	
	【平成22年度末における計画】※構想調書から転記			※構想調書から転記	※構想調書から転記	
	【平成22年度末における実績】					

3. 経費(補助金)の使用状況

○記載にあたっての留意事項

- ①各経費の明細については、別添様式1に記載してください。
- ②「取組状況欄」には、各年度における以下の事項について記載してください。
- ・補助金の各経費(設備備品費、旅費、人件費、事業推進費)への配分にあたっての考え方
 - ・補助金の適正な執行のための体制・取組について(年間の執行計画はあるか、不適切使用を事前に防ぐための取組や執行管理の方法、内部監査や監事監査等が行われているか、年度末に緊急度や必要性の低い消耗品や備品を購入するなど、効果的とは言えない使用がないか 等)
 - ・補助金の効率的、効果的な使用のための工夫や取組について
- ③「今後の展望」欄には、構想の組立て直し(大学間連携、産業界との連携、英語コースの授業開放、教育資源の共有化等)を踏まえつつ、今後の予算の配分方針や、事業終了後に大学負担で本事業を発展的に継続していくための方策など今後の展望について記載してください。

【取組状況】

(平成21年度)

(平成22年度)

【今後の展望】

4. その他(意見・要望)※

限られた期間、予算のなかで国際化の拠点となるべく様々な創意工夫、経営戦略によってこれまで取り組んでこられた貴学が、我が国の大学の国際化を牽引する拠点となるうえで、その努力や困難さ、課題について、ご自由にお聞かせください。その際、国際化拠点として、更なる取り組みとして必要と考えられることについても、自由にお聞かせください。

※)本欄に記載した内容については、評価の対象とはしませんので、積極的に記載してください。

(別添様式1) 平成21年度及び平成22年度における経費の使用実績

経費の使用実績について年度ごとに記入してください。なお、大学負担額がある場合は、該当する経費区分欄及び金額を大学負担欄に明示してください。[年度ごとに1ページ]

記載例 : 教材印刷費 〇〇〇千円
 〇〇部×@〇〇〇円
 : RA経費 〇〇〇千円
 〇〇人×@〇〇〇円

<平成21年度実績> 経費区分	補助金 (①)	大学負担 (②)	計 (①+②)	備考
[設備備品費]				
[旅費]				
[人件費]				
[事業推進費等]				
平成21年度	合計			内) 利息: 返納:

(大学名:)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<平成22年度実績> 経費区分	補助金 (①)	大学負担 (②)	計 (①+②)	備考
[設備備品費]				
[旅費]				
[人件費]				
[事業推進費等]				
平成22年度	合計			内) 利息: 返納:

(大学名:)